

本市では、「多様性を認め合

本巣では、
心温まるご尽力の賜物であり、
深く敬意を表しますとともに、
心から感謝を申し上げる次第
です。

社会福祉法人徳島市身体障
害者連合会の機関紙「あゆみ」
が、このたび記念すべき創刊第
50号を迎えることを、
心よりお祝い申し上げます。
貴連合会におかれましては、
昭和25年に前身である徳島市
身体障害者会として結成され
て以来、70年以上の長きにわ
たり、本市の福祉行政の中心的
役割を果たされ、地域福祉の推
進に多大なるご貢献をいただ
いております。

これもひとえに、林理事長様

をはじめ、貴連合会の皆様方の
心温まるご尽力の賜物であり、
深く敬意を表しますとともに、
心から感謝を申し上げる次第
です。



第50号記念号に寄せて

徳島市長 内藤 佐和子



発行 社会福祉法人
徳島市身体障害者連合会



新年度を迎えて

理事長 林 德太郎

今年度は、改装された徳島
市役所新蔵分庁舎で迎えまし
た。分庁舎は2階建てで、1階
は本会が、2階は徳島市国際交
流協会が入居しています。

本会の事務室及び相談室は、

以前の徳島市社会福祉センター
のときよりも広くなり、大会
議室や多目的室もあり、事務事
業を進めていく上で、随分と便
利になりました。更に、多目的
トイレも新設されるとともに、
府庁舎には珍しい枯山水のある

日本庭園があります。

会員の皆様には是非ともお
越しいただき、この風情を楽し
んでいただき、地区会やクラブ活
動の場所として、安心してご活用
いただけます。

四国の都市身体障害者会の
交流と情報交換を目的に平成
25年度から始まった四国都市
身体障害者連絡会議につきま
しては、令和2年度、3年度に
続き昨年度も中止という残念
な結果になりましたが、これは
仕方ないことだと思っていま
す。

本会では、ICT時代に対応
すべく、本会への登録申請や会
員の方々からの相談事業をオ
ンラインで行えるよう、ホーム
ページを改修するとともに、ズ

色々な制約が課せられました。
しかし、会活動は会員が顔を合
わせ、交流を深めることが大切
であるとの認識の下に、本会の
基本施策を審議する役員会な
どはもとより、バスケット講
習会、バスケット大会、人権
問題研修会、福祉大会などコロ
ナ対策を十分に講じながら開
催してまいりました。

会員の皆様も積極的にご参
加いただき、大きな成果を納め
ることができました。

本会が、未来に向かって力強
く歩んでいくためにも、登録会
員の数を増やしていく必要が
あります。会員の皆様には、引
き続き本会の活動になお一層
のご支援を下さいますよう、よ
ろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の
皆様方にとつて本年度が素晴らしい年でありますよう祈念
いたします。



の言葉とさせていただきます。
昭和2年1月に始まつた新
型コロナウイルス感染症によ
り、昨年度も社会生活活動に
ては、多様性を認め合

る連携を図りながら、障害者福祉
施策のより一層の推進に努め
てまいりたいと存じますので、
引き続き、ご支援、ご協力を賜
りますようお願い申し上げま
す。

結びに、社会福祉法人徳島市
身体障害者連合会の益々のご
発展と、皆様方のご健勝、ご活
躍を祈念いたしまして、お祝い
です。

本市では、「多様性を認め合

る連携を図りながら、障害者福祉
施策のより一層の推進に努め
てまいりたいと存じますので、
引き続き、ご支援、ご協力を賜
りますようお願い申し上げま
す。

結びに、社会福祉法人徳島市
身体障害者連合会の益々のご
発展と、皆様方のご健勝、ご活
躍を祈念いたしまして、お祝い
です。

本市では、「多様性を認め合

る連携を図りながら、障害者福祉
施策のより一層の推進に努め
てまいりたいと存じますので、
引き続き、ご支援、ご協力を賜
りますようお願い申し上げま
す。

結びに、社会福祉法人徳島市
身体障害者連合会の益々のご
発展と、皆様方のご健勝、ご活
躍を祈念いたしまして、お祝い
です。

本市では、「多様性を認め合

本年度は、理事及び監事の任
期満了に伴う改選が控えています。
これまで本会の主要な役割を担つてこられた方々が
段々と高齢化していますが、若い後継者が中々現れないのが現状です。

新型コロナウイルス感染症の終息が待たれます。しかし、本年度は環境もうまく取り入れ諸事業を進めてまいりたいと考えております。

本年度は、理事及び監事の任
期満了に伴う改選が控えています。
これまで本会の主要な役割を担つてこられた方々が
段々と高齢化していますが、若い後継者が中々現れないのが現状です。

本年度は、理事及び監事の任
期満了に伴う改選が控えています。
これまで本会の主要な役割を担つてこられた方々が
段々と高齢化していますが、若い後継者が中々現れないのが現状です。

各単位団体の活動状況

肢体障害者会

会計 八幡 恵

三、新春今年も元気で会

令和5年1月22日(日)に県立障がい者交流プラザで開催しました。

新型コロナ第8波に

対する懸念もありましたが、政

府による行動制限もなくなつ

ており、3年ぶりの開催です。

すっかり出不精になつてい

たのか令和元年度と比べて約

3割減の29名の参加でした。

それでも久しぶりの交流会と

いうこともあって、参加者の

方々はそれぞれにコロナ禍での

生活や物価高対策、メダカの

話にハーモニカの話など予定

時間をオーバーしていろいろ

話してくれました。また最後に

岡山茂幸さんのトランペット

生演奏を聞くことができ、つく

づく行動制限がないのは樂し

いことだなと感じました。

また開催に当たり、フードバ

ンク徳島様からのご支援、徳島

文理大学の学生さんのボラン

ティア協力を頂きました。この

場を借りてお礼申し上げます。

本会は、市内に在住する肢体障害者の自立と社会参加の促進を図り、会員相互の友好を目的として活動を行っています。

令和4年度活動報告

一、四肢の日記念福祉大会

令和4年当初には新型コロナウイルスのオミクロン株による感染拡大がみられ、4月に予定していた四肢の日記念福祉大会は、3年連続で中止となりました。

二、理事会・評議員会

6月12日(日)に市社会福祉センターで開催しました。令

和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画及び収支予算について議決を頂きました。このうち歳入については、連合会の財務状況が悪化したことから、本会への助成金も大幅な減額となりました。主財源のない本会としては、コロナ後の活動再開にあたつて合理的な事業運営をしていく必要があります。

◇今後の課題

本市には、肢体不自由、内部障害合わせて約8千名の身体

障害者手帳の所持者がいます(令和3年度)。しかし肢体障害者会が把握できているのは、そのうち5%にも満たない約400名です。その会員の方も高齢化やコロナの影響で年々活動への参加者が減少しています。

一方で個人情報保護の壁に阻まれ、新規の会員加入は、困難を極めています。登録会員の減少を食い止めるためには、肢体の行事について新聞等で紹介してもらうなど、不特定多数に向けた発信が必要と思われます。

聴覚障害者会

会長 港 博義

本会は、市内に在住する聴覚障害者のための社会的地位向上と、情報保障・福祉増進を図り、また会員相互の友好を目的として結成し、名称を「徳島市聴覚障害者会」としています。

令和4年度活動報告

一、定期総会

(令和3年度決算事業業報告)

二、毎年人気のある春のボーリング大会と、秋のパークゴルフ大会では、身体を動かすことが好きな人がたくさん参加しました。(厚生部)

三、女性部の企画のひとつとして、料理教室を毎年行っていますが、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年も中止させていただきました。手話のできる講師さんが喜んでもらえるように料理教室に代わり楽しいイベントを考えています。(女性部)

四、寒い冬はみんなでお風呂に入つて体を温めようという企画を立てました。あらたえの湯(田宮)で入浴して美味しい食事をいただきながら楽しい時間をお過ごしました。「ゆっくりのお風呂は気持ちがいいね」と大好評でした。今年も同じような企画を立てたいと思います。

2020年に新型コロナウイルスが世界を一変させ、そこからすでに3年が経とうとしています。我々を取り巻く環境が大きく変わりました。コミュニケーションツールを見直す動きが拡がっています。「zoom」などのweb会議ツールを利用する動きも拡がりつつもあります。しかし、テレビ画面には話し手だけが映り、通訳が見えない状況が続いているなど、まだまだ問題点が多くあるように思います。

法的な未整備が大きく起因して施策が遅れているのは明白です。障害者権利委員会が昨年9月に日本政府に「手話を公用語として法律で認めること」との勧告を出しました。私たちは誰よりも「手話言語法」の実現を強く願っています。



視覚障害者会

会長 北川 和彦

本会は、市内に在住する視覚障害者の社会的地位の向上と福祉の充実を図り、会員相互の友好と親睦を目的として、結成されました。

一、視覚障害者会の行事

新型コロナウイルス感染症の終息とはなつていませんが、感染対策をしながら行事を進めることとしました。

① 定期総会

新型コロナウイルス感染症のため実開催できていなかった総会を、3年ぶりに会員同士顔を合わせて開催できました。

前年度の事業報告・一般会計報告・監査報告、また、今年度の事業計画（案）・一般会計予算（案）について承認を得ました。

② 第53回「目の日記念」福祉大会

1部では、簡単な式典
2部では、コロナ禍にあって運動不足を補うものとして「ストレッチングの重要性について」と題して、理学療法士の松浦康氏から実技も併せて講演していただきました。

③ 社会見学研修会

県西部の「加茂の大楠」を見て、その姿から自然の大きさの一端を感じることができます。道の駅とサービスエリアなどでショッピングなどをして交流を深め、久しぶりの楽しい一日を過ごしました。

二、部会の活動

① 「かがやき部」「さつき部」の行事は、新型コロナウイルス感染症のため中止しました。

② グランドソフトボールクラブ徳島県立徳島視覚支援学校グランドにて、日曜日に練習を行い、選手を各大会へ出場・派遣しました。

三、市身体障害者連合会の行事

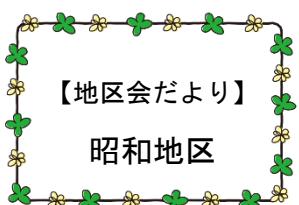
パララスボーツ大会、第43回福祉大会等に参加しました。

コロナ感染の為に過去2年間「総会」を中止していましたが、連合会及び地区社協から助成金を頂きながら地区会の最大の行事を3年間も中止する事が心苦しく感じ、令和4年10月に開催致しました。参加者は12名でした。

開催にあたり過去の総会では、お弁当を食べながら懇談していましたが、コロナ感染予防のため食事と懇談もやめて、地区会の活動報告・会計報告などを行う短時間開催としました。

2020年1月16日から、感染拡大防止のため自粛の気運が高まり、毎月第4日曜日に行われていた月例会も、1月26日を最後に休止に入りました。対面で対局するだけに、休まるを得ませんでした。

昭和地区 会長 富永 重行 TEL 088-622-9052



昭和地区 会長
富永 重行
TEL 088-622-9052

コロナ禍での地区会活動について

コロナ禍の将棋クラブ

栗尾 昭彦

これらの機器の使用で、解らないことがあれば教えてもらいます。今は参加する方が減少していますので、昭和地区以外の方でも参加は可能ですが。興味のある方は富永まで連絡してください。



なお、昭和地区では、パソコンの勉強会を令和3年秋から行っています。毎月第2土曜日の午前中、無料での開催です。4月からは、パソコンだけでなく、スマートタブレットの勉強会も開始する予定です。

昨年から、全国大会の県予選が万全の態勢で数回行われましたが、県下のトップクラブのA級のみの集いで、B級・C級は人數制限により除外されました。県の将棋大会の世人の方も、神経をとがらせます。



身障将棋クラブも、病気がちであつたり多くが高齢者といることで、入院・施設入所・手術等で、この3年間駒を持つ機会もなく、コロナの終息の声が聞こえても、将棋への情熱が薄れてしまわないかと危惧しております。

日本全体が、落ち込んでいた中で、将棋界に明るい話題を提供してくださったのは、時の人、藤井聰太さんでした。中学生でプロになり、八つあるタイトルのうち、4～5年の間に五つ（2023年3月10日時点）を手にし、残り三つも、手にする可能性があるそうです。

150人前後のプロ棋士の中で、現役の時に一つのタイトルでも手にできるのは、ほんの一握りです。羽生善治さんが、30年近く前に七つあるタイトルを全て獲得しましたが、藤井聰太さんは、一つ多い八つのタイトルを手にしようと挑戦しているのです。これらも、ニュースで顔を拝見する事が、増えると思われます。

コロナの不安から一日も早く解消されて、マスク無しで、対局できる日を待ち望んでいます。

つぶやき

新型コロナの感染発生から本年で三年。

今なお県内において数値が定まらない。今年こそ収束し、新しい事務所移転を機に、本会の企画した活動が出来る事を願いたい。

藤川 義男

正月飾りを大麻比古神社(明神さん)へ、納めに参りました。以前から気になっていたので、居合わせた宮司さんに神社についてお聞きしました。おおあさ比古神社と言つて古神社だそうです。知らんかった(*_*)

フリーランス

昨年10月、ロシアによるウクライナ侵攻の終結を祈るジヤズライブに誘われた。県内在住のウクライナ女性3人が招かれて。強烈な音響とリズムの後、アンコールはともしび、カチューシャ、トロイカなどロシア民謡ばかり。平和を語るのは難しい。

障害という字は、害は「がい」というひらがなを書くと言つていたのでは、ないのでしょうか?

人権研修でも個性的なという言葉を使つていましたが、「障害」と使わずに、「個性的」と使つたらどうでしようか? (…)

文化センターに続き、社会福祉センターまで壊されようとしています。

大きなホールが出来るのは良いと思いますが、高齢者や障害者が集う福祉センターだけでも残してほしかった。

きぼう亭 ハッスル

一昨年から家庭菜園を始めました。ミニトマト、ミニ白菜、里芋、いちご、ほうれんそう、オクラ、ねぎ等々。市販のものとは一味違つて美味しい感じるのは何故なのでしょうか?

十三三



トクシィ

田村 茂美

「夢を感動へ。感動を未来へ。」
をスローガンとする第22回全

国障害者スポーツ大会のフラン

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

（…）

<p

徳島市パラスポーツ

講習会に参加して

川尻 浩一



R4.7.24 講習会 風景

私は、視力障害（弱視）で、視力障害者の参加は、私を含めて7名（弱視4名・全盲3名）でした。今回実施された種目では、同様な体験はしていますが、私達視力障害者は、的までの距離、大きさ、型などを把握するのに時間を要することがあります。そんな中で、全盲の方が、数回目で的に命中したり通過した時の笑顔が印象的でした。

初参加された方も、「大変楽しかった。来年もあれば参加したい。」と言われておりました。私達が参加しやすい卓球バレーなどの種目追加等の希望はあります。が、時間制限もありもう少しやってみたいと思う講習会でした。今年も開催されれば、できるだけ参加したいと思います。

親の会の本人も保護者の方も、全員に参加して頂きました。車イスリレーに参加した人は、自分は車イスに座り、別の人を押してくれる競技と思つていいらしく、いざ乗つてみると車イスがこげません。進むことも廻る事も四苦八苦、車イスに乗るような病気もケガもしたことがなかつた元気な方だったのでしょうか。

連合会主催の福祉大会が、令和5年2月5日（日）徳島市生涯福祉センターで開催されました。例年だと秋期開催ですが、昨年度は9月に事務所が、新蔵分庁舎に移転することが決定していましたので、延期しました。

3年ぶりの開催で、参加者を110人という大勢の方々が参加されました。

福祉大会 盛大に開催



前半は、モーツアルト、バッハ、ドヴォルザークなどのクラシック、後半は昭和歌謡メドレーに聞き入りました。

お世話を下さった連合会の事務局、各種ボランティアの団体の皆様方、本当に有難うございました。

選手宣誓

式典では、永年にわたり事務局長として連合会を支えてくださった英通義様ほか5名の方々に感謝状又は表彰状が授与されました。

第1部 記念式典には、内藤佐和子市長、宮内春雄市議会議長のほか4名の方々の御臨席を頂きました。

令和5年1月8日（日）に、身体障害者相談員研修会を兼ねて、人権問題研修会を開催し、連合会の役員、地区会長、相談員、事務局職員等を合わせて26名が参加しました。

今年度の研修会では、徳島市人権教育・啓発講師団講師の西岡康仁氏を講師に招聘し、「身近にある様々な人権問題から学ぶ」というテーマで講演をしていただきました。

西岡講師には、主に障害者の人権について分かりやすく解説していただきました。西岡講師には、主に障害者の人権について分かりやすく解説していただきました。西岡講師には、主に障害者の人権について分かりやすく解説していただきました。

西岡講師には、主に障害者の人権について分かりやすく解説していただきました。西岡講師には、主に障害者の人権について分かりやすく解説していただきました。

価値観の変化や技術の進歩により、ますます多様化・複雑化する人権問題に対応するため、今後も継続して研修会を開催し、人権意識を高める取り組みを行っていきます。



人権問題研修会

開かずの押入から宝物

昭和52年から45年間、事務所を置いてきた市社会福祉センターには、長い間使われていない大きな押入れがありました。

センターの取扱しに当たり、

管理受託者として最終整理のため、入っている物を全て出すと、各種各様の物が大量に出てきました。色々な団体が利用していました。押入れで、入れたまま忘れ去られていたのでしょうか。

その中に、当連合会に関係するものとして、徳島民報社(注)寄贈の「徳島盲人会」旗、「財団法人徳島市身体障害者連合会」旗、そして昔を思い出させる古い「アルバム」多数。

記憶から抜け落ちているものばかり。しかし、歴史を伝える大切なものです。多くの方々に見ていただきたい。そして、後々までも伝えていかなければならぬと思っています。



トクシィ



古いアルバム



財団法人時の連合会旗



徳島盲人会旗

(注)徳島民報社
戦後、徳島市に社屋のあつた新聞社。昭和29年10月、徳島新聞社に吸収合併される。

令和5年2月9日に突然の計報、県視連会長「久米清美」氏が急死、私達视力障害者は、大変お世話になりました。また様々な事にも御尽力して下さいました。

その会長から、今回の県知事賞の受賞報告を受けた時は、本当に「私ですか?」と問い合わせました。

知事表彰を受賞して

川尻 浩一

私は、今回视力障害での県知事賞を、令和4年12月10日に受賞しました。誠に光栄に思っています。

令和5年2月9日に突然の一層精進し、微力ですが、今後に努力していきたいと思っています。

今回このような賞を頂き、本当に有り難うございました。



(令和5年2月5日)
三英三清浅佐木好水野條清通佳定高和美義子子弘美
徳島市身体障害者福祉大会理事長・名誉会長表彰

栄誉を讃えます



中・四国身体障害者
徳島県身体障害者福祉大会
北川和彦
(令和4年11月11日)
川尻 浩一
(令和4年12月10日)
県知事表彰

徳島市における身体障害者会のあゆみ

- 昭和25年10月、傷痍軍人会、視覚障害者会及びろう者協会の3団体で徳島市身体障害者会が結成される。当時、伊月町2丁目にあった盲人会館を身体障害者会館とし、同会館で活動を開始する。
- 昭和32年1月、徳島市肢体障害者会が結成される。
- 昭和35年3月、傷痍軍人会、視覚障害者会、ろう者協会及び肢体障害者会の4団体で徳島市身体障害者連合会(以下「連合会」という。)が結成される。
- 昭和36年3月、連合会の事務所として、身体障害者会館が徳島中央公園の北東部、助任川沿いに、徳島市により新築される。木造平屋建てで約45坪。敷地面積は、約100坪であった。
- 昭和47年5月、設立以来連合会は、傷痍軍人会、視覚障害者会、ろう者協会及び肢体障害者会の4団体で構成されていたが、時世の移り変わりなどから、傷痍軍人会を削除する規約改正が行われた。
- 昭和52年4月、社会福祉センターが建設され、連合会の事務所を同センターに移転する。
- 昭和54年1月、連合会は財団法人になる。
- 平成25年4月、連合会は社会福祉法人になる。
- 令和4年9月、市役所新蔵分庁舎に連合会の事務所を移転し、同年10月から同庁舎で仕事を開始する。

あゆみ園だより

園長 島谷 淑子

令和5年に入り、なやまされ続けたコロナもやっと落ち着いてきました。中止されていた各行事も少しづつ開催され、ほつとしています。

あゆみ園のお弁当事業、藍染事業もコロナに負けることなく、順調に進んでおります。

通所されている利用者の皆さんも皆んな元気にはんばっています。

あゆみ園では、調理の好きな方や弁当の盛付が出来る利用者さんを募集しています。仕事してみたいと思われる方は、いつもご相談に応じますので、あゆみ園又は徳島市身障連合会事務局にご連絡ください。毎日でなくとも大丈夫です。一緒にがんばってみませんか。

地域活動支援センターの会員も募集しています。樂器演奏、歌(第1・第3木曜日午後)茶道毎週金曜日午前・午後、それぞれ楽しく練習していますので、興味のある方は参加していました。お茶は椅子式ですので、正座の必要はありません。年2回くだければうれしいです。

あゆみ園のお弁当事業、藍染事業もコロナに負けることなく、順調に進んでおります。通所されている利用者の皆さんも皆んな元気にはんばっています。



お茶室

手作り弁当を配達いたします！

所長 山口 聖雄

徳島スローウォークセンター
あゆみ園新館が竣工オープンし、おかげさまで6周年を迎えて、お手伝いをするようになります。



あゆみ園 新館

管理栄養士による栄養バランスを考えた豊富な献立から作られる日替わり弁当。一つ手作りにこだわり心をこめて調理しています。

そんな手作り感満載の弁当の味がお客様に気にいってもらえたのか、朝、電話注文を開始してから早々に完売となる日もみられるようになります。

あゆみ園は会員皆様のたくさんのご協力、ご支援のおかげで今まで進んでまいりました。

今後共あゆみ園を応援していただきますようよろしくお願ひ申し上げます。

現在、職員と一緒に調理室で盛付けなどで働いている利用者は5名、弁当配達の利用者は2名で7名の方が毎日忙しい中にも和やかに仕事に励んでいます。

利用者の皆さんのが楽しく和やかに働けるような職場となるよう職員一丸となつて心をこめて支援していきたいと考えています。

藍の色は神秘的です。黄土色から空氣に触れるとき、緑から藍色へ変色していきます。なお、藍はとても繊細で、熟染め、水洗い、乾燥、包装の過程は、あゆみ園利用者さんとの共同作業です。

練者の園長は温度やPHなど、とても気を使っておられます。藍染のお手伝いをするようになって3年、イオンなどでもあゆみ園の商品を見かけると嬉しくなります。

藍染商品で、安定した収益を上げるには、新商品や販売方法等いろいろと考えていく必要があります。がありますが、一番は新規販売等いろいろと考えていく必要があります。

あゆみ園ブランドとして広く認知されるよう、職員・利用者一丸となつて、取り組んでいきたいと考えています。

あゆみ園指導員 谷野 雄治



藍に出会って

徳島コクリコ様からご寄付

戦中・戦後に朝鮮人男性の妻として朝鮮半島に渡った後、死別するなどして身寄りをなくした日本人女性のための施設・慶州ナザレ園。

この園の入居者の食費や生活費を支援するため、徳島コクリコは、ハーモニカやオカリナなどによるチャリティーコンサートを開催し、支援活動を続けてきました。

時は移り、園の入居者も少数となるとともに、コクリコのメンバーも高齢化し、この度支援活動を終えました。

去る2月1日、コクリコ代表・木下充子様からあゆみ園に、支援活動を終えて手元に残った17万円をあゆみクリアブにご寄付いただきました。ありがとうございました。

このことは、徳島新聞(令和5年3月6日)紙上で、大きく報じられました。



